

事務事業名		被災者生活応援復旧支援金支給事業		所属部	防災部	所属課	防災安全課
総合計画体系	政策名	政策外		所属G	防災安全G	課長名	女鹿田比文
	施策名	施策外		担当者名	田部雄二	電話番号	0854-40-1027
	目的対象	意図				(内線)	2352
	基本事業	その他		予算科目	0:1:4:5:0:2	大事業名	災害対策総務管理事業
目的対象	意図				0:5:2:5:7:0	中事業名	被災者生活応援復旧支援金支給事業

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
令和3年7月豪雨により家屋、木戸道等に被害を受けた世帯	既存の補助制度の対象にならない家屋や木戸道等の早期の復旧支援
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	本来、個人資産である家屋、木戸道(以下「家屋等」という。)の災害崩土、崩落、倒木(以下「崩土等」という。)の除去について、過去に類を見ない甚大な被害となっており、既存の補助制度の対象にならない事例も相当数にのぼり、早期に安心な生活環境を回復させることを目的として、特例的に家屋等の崩土等の除去や崩落の応急処理費用を支援する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
被災者に対して支援を実施する。崩土、崩落などの応急処理費用で対象経費の2分の1を支援(上限20万円) 申請件数:219件 支援金額:22,947千円	令和3年7月豪雨災害の被害状況により市独自で支援を実施。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 支援件数	件			219	
イ 支援金額	千円			22,947	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
補助金(ハード・その他) 22,947千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
その他財源		県支出金	千円			
政策選択基金繰入金(災害)		地方債	千円			
総務費寄付金(災害関連)		その他	千円			4,502
		一般財源	千円			18,445
	事業費計	千円	0	0	22,947	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和3年7月豪雨災害を受けて、災害復旧事業の補助対象とならない木戸道や家屋被害の早期の復旧に向けた支援策の一つとして制度を確立し、早期の復旧を支援した。
② 事業実施するうえでの課題	早期の復旧を図るため、被災の全体像を早期に把握し課題を整理することが必要。
③ 課題解決に向けた改革改善等	迅速な被災状況の全体把握。